

自転車ヘルメット義務化

着用促進モデル

洛和会を選定

4月から自転車利用者のヘルメット着用が義務化されるのを前に、京都府警は8日、新たに創設したヘルメット着用促進モデル事業所の第1号に、病院や介護施設を運営する洛和会ヘルスケアシステム(京都市山科区)を選定した。

道交法の改正で自転車のヘルメット着用は努力義務になるが、2月の府警の調査で着用率は4%未満だった。

た。このため府警は、ヘルメット購入費を補助するなど積極的にヘルメットを着用する事業所を「モデル」として指定し、普及を進めることにした。

この日、府警本部で指定書の交付式があった。洛和会は、訪問看護や通勤など

への参加を府内の事業所に働きかけるといふ。

(上口祐也)

で職員や看護学生ら約1900人が自転車を利用しており、購入費3千円を補助する。府警の仲川徹交通部長から指定書を受け取った矢野裕典理事長は「ヘルメット着用のパイオニアとして進めていきたい」と話した。府警は今後、取り組み